授業科目名	とちぎ学	大学名	作新学院大学
科目区分	ＶＵ連携講座	開講時期	後期（9 月 21 日～1 月 31 日）
学部・学科等	経営学部・人間文化学部	曜日	火曜日
必修・選択区分	選択	時限（時間）	２時限目　10：40～12：10
標準対象年次	１年生	授業形態	講義
単位数	２単位	授業会場	学内講義室
担当教員名	西田　直樹		
電話番号（代表者名）	028-667-7111 （作新学院大学）	e-mail アドレス	nishida@sakushin-u.ac.jp
ｵﾌｨｽｱﾜｰ	特に設けず、e-mail や電話で予約を取ってから、質問や相談に応じる。		

授業の概要

＜授業の目標及びねらい＞
栃木県の学生が、栃木県の歴史や文化、地理、産業、県民のライフスタイルなどについて学び、栃木県への理解を深めると同時に、栃木県で就職を希望する学生に社会人としてコミュニケーション能力の基盤をつくる。

＜前提とする知識・経験＞
特に受講の条件となる前提は無いが、小学校の３・４年生の社会科で地域学習を経験している事が望ましい。

＜授業内容と具体的な進め方＞
授業登録が決定した段階で、ワークブックを配布する。授業はワークブックにしたがって行い、予習もワークブックに書かれた指示にしたがって行う。

＜授業計画＞
第 1 週　作新学院大学の建学の精神について
第 2 週　栃木県の大学で学ぶ意味を考えよう
第 3 週　「名物」から考える地元の魅力
第 4 週　郷土史が生み出す地域のつながり
第 5 週　歴史でふりかえる栃木県（古代～中世）
第 6 週　歴史でふるかえる栃木県（江戸時代～明治維新）
第 7 週　歴史でふりかえる栃木県（明治時代～現代）
第 8 週　知っておきたい宇都宮市のあゆみと未来
第 9 週　清原キャンパスタイムトリップ
第 10 週　荒井退造（清原村出身）の人生と仕事観
第 11 週　沖縄県と栃木県を結ぶ荒井退造
第 12 週　就職活動の前に土地意見の産業について学ぶ
第 13 週　住環境から考える栃木県のライフスタイル
第 14 週　食生活から考える栃木県の農業
第 15 週　私が考える栃木県の未来（協働・共生社会について考える）

＜教科書・参考書・教材と入手方法＞
・教科書は、授業で配布するワークブックがテキストを兼ねる。
・参考文献
①『絵葉書が映す　下野の明治・大正・昭和』卯木伸男　　随想舎

＜成績評価法＞
期末レポート、予習課題、授業への参加態度を総合的に判断して評価する。

＜教員からのメッセージ＞
大学生は社会人の一歩手前というポジションですから、地域の人々との関わりが、高校時代とは比べものにならないほど深くなります。この授業では、栃木県についての学習を通して、みなさんに地域での生活や活動に役立つ「コミュニケーション能力」を提供します。それは「聞くこと」「話すこと」にとどまらず、「積極的に話題を提供できる能力」を含めた「総合的なコミュニケーション能力」です。単なる物知りになるのではなく、学んだ知識を活かして地域の中で必要とされる人になって下さい。